
2014 年度（平成 26 年度）

事業報告書

平成 27 年 5 月 22 日

関西女子短期大学附属幼稚園

園児数

＜関西女子短期大学附属幼稚園＞

(単位：名)

学校名	入学定員	収容定員	H26年度在園児数(現員)				H25年度卒園児数
			H26.5.1				
			最年少	年少	年中	年長	
関西女子短期大学附属幼稚園	—	495	3	109	120	126	129
幼稚園 計	—	495	358				129

※最年少は満3歳児クラスを示す

教職員の人数

＜関西女子短期大学附属幼稚園＞

(単位：名)

学校名	専任教員数		計
	男	女	
関西女子短期大学附属幼稚園	3	16	19

(平成26年5月1日現在)

事業の概要（主な事業内容および進捗状況）

- 園児増を目指して魅力ある幼稚園の構築

子ども・子育て支援新制度の動向を踏まえつつ、幼稚園の教育課程の内容を再確認し、教職員間で共通理解をはかり、教育の質を高めた。また保護者のニーズを確認することで本園の中・長期のビジョンを明確化し、幼稚園が今後担うべき役割について認識を深めることができた。
- 保育環境、施設、設備の充実

恵まれた環境を活かして、教職員、友達と関わりをもちながら、心の響き合いを深め、自発的な遊びを通じて、人間形成の基礎づくりと生きる力を培うことができた。

さらに学内の大学、短大、高校に協力を仰いで、家庭の教育力向上を目指し、また充実した施設と恵まれた自然環境を積極的に活用して、園児や保護者の満足度を向上させた。
- 教員の保育力の向上

教職員が保育に必要な知識や技能を深めるため、種々の研修会に積極的に参加できる環境を整えた。また園内研修を積極的に行い、研修報告や反省会を随時行うなど、研修内容の共有化をはかった。
- 幼保一元化への対応

時代の変化に適切に対応できる幼稚園として、「子ども・子育て支援新制度」の方向性について、関係機関や有識者の意見を伺い、想定できる課題などを含め、鋭意検討を重ねることができた。
- 効果的な広報活動の充実

保育活動全般にわたって、継続すべき活動と改善すべき活動を分類し、本園のブランド化を推進した。オープンスクールなどでアピールポイントを紹介することで園児募集につなげ、地域に根ざした幼稚園として、家庭との連携を深めながら透明性を高め、顔の見える幼稚園づくりに取り組んだ。
- 創立50周年（2015年）に向けての事業推進

創立70周年記念誌を参考に、幼稚園の「過去・現在」を中心に写真を多用した見やすい記念誌を作成中である。